

PRESS RELEASE



名古屋証券取引所

NAGOYA
STOCK EXCHANGE

名古屋市中区栄 3-8-20 〒460-0008
Tel 052-262-3171 www.nse.or.jp

平成 30 年 6 月 29 日

各 位

6 月社長記者会見

1. 取締役の選任等について <資料 1 参照>
2. 夏休み親子経済教室の開催について <資料 2 参照>
3. Fintech 勉強会の開催について <資料 3 参照>

以 上

平成 30 年 6 月 29 日
株式会社名古屋証券取引所

取締役の選任等について

1. 取締役	(主な兼職)	
代表取締役社長	竹 田 正 樹	
取締役	森 一 幸	
取締役*1	石 田 建 昭	(東海東京証券(株)代表取締役会長最高経営責任者 (CEO)、東海東京フィナンシャル・ホールディングス(株)代表取締役社長最高経営責任者 (CEO))
取締役*1	奥 野 信 宏	((公財)名古屋まちづくり公社上席顧問・名古屋都市センター長)
新任 取締役*1	尾 山 英 樹	(野村証券(株)常務名古屋駐在兼名古屋支店長)
取締役*1	久 米 雄 二	(株トーエネック相談役)
新任 取締役*1	辻 岡 功	(大和証券(株)執行役員名古屋法人担当)
取締役*1	新 美 篤 志	(株ジェイテクト アドバイザー)
取締役*1	山 本 亜 土	(名古屋商工会議所会頭、名古屋鉄道(株)代表取締役会長)

*1 は会社法で定める社外取締役

2. 監査役	(主な兼職)	
常勤監査役*2	大 井 正 隆	
監査役*2	安 藤 敏 行	(安藤証券(株)代表取締役社長)
監査役*2	中 松 健 一	(三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)常務執行役員名古屋駐在(東海地区担当))

*2 は会社法で定める社外監査役

3. 執行役員	(業務分担)	
代表取締役社長	竹 田 正 樹	
取締役	森 一 幸	(自主規制グループ統括、業務グループ統括)
執行役員	鈴 木 武 久	(総務グループ統括、営業推進グループ統括)

夏休み親子経済教室の開催について

当取引所では、“経済”や“株式会社”が私たちの暮らしとどのように結びついているのかを親子で学んでいただくため、以下のとおり親子経済教室を開催することとしましたので、お知らせします。

日時	小学生の部 平成30年8月21日(火) 13:00～16:00 中学生の部 平成30年8月22日(水) 13:00～16:00
対象	小学生の部 小学4年生～小学6年生 中学生の部 中学1年生～中学3年生
内容	(1)講義(シェア先生の経済教室) 私たちの暮らしがどのように経済とかかわっているのか、また、株式会社のしくみなどについて、ロールプレイをしながら楽しく学びます。 (2)ボードゲーム体験 あるニュースの発生によって、どの業種の会社がどのような影響を受けるのかについて自分で考えながらゲームに参加し、最終的な獲得金額を比べる『ブルサ』というゲームです。社会や経済の動きが株価とどのように結びついているかを学びます。 (3)名古屋証券取引所見学 売買取引を監視している売買監視室を見学します。 ※参加生徒には修了証と参加賞を差し上げます。また、ボードゲーム優勝者にはトロフィーを授与します。
定員	各部とも親子36組72名(事前申込み制・先着順) ※中学生は保護者なしでの参加も可能です。
参加費用	無料
申込み	平成30年7月2日(月)から当社ホームページより申込み。定員になり次第締め切り。 http://www.nse.or.jp/
会場	名古屋証券取引所 5階 名証ホール
主催等	主催 株式会社名古屋証券取引所 協力 株式会社東京証券取引所

以上

Fintech 勉強会の開催について

1. 概略

昨今、「Fintech」というキーワードに大きな注目が集まり、具体的な技術やアイデアの導入が、急速に進展しつつある状況となる中、取引参加者が最新の動向をフォローするとともに、自社業務等への導入可能性を検討する場合の一助となるよう、勉強会を開催する。

2. 開催概要

項目	概要
会期	2018年7月から開始。2か月に1回程度開催
会場	名証ホール
対象者	取引参加者 (経営者・総務担当・IT 担当・企画担当等)
内容	各回テーマに即した専門講師による講演会

<参考 第1回開催概要>

開催日:2018年7月6日(金)10:00～

プログラム:講演 第1部 金融ビジネスを実現する IT 技術の俯瞰
第2部 人工知能(AI)活用の考え方
フリーディスカッション

講師:中川 雅之 氏

(株)日立製作所 金融第二システム事業部 金融システム第一本部 担当部長

<参考 第2回以降のテーマ>

- ブロックチェーン(仕組み・用途等)
- AI(人工知能)等の活用事例
- RPA(ロボテック・プロセス・オートメーション)
- 高度化するサイバー攻撃(対策等)
など

以上